

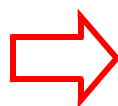
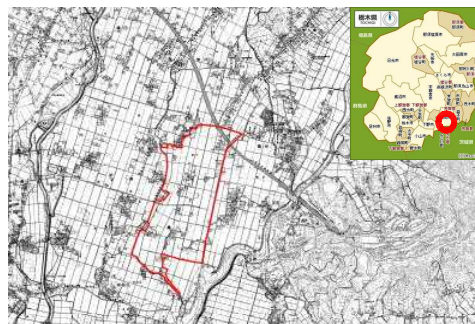
小貝川西地区（平成20年3月完成） 県営圃場整備事業

1. 事業概要

本地区は、真岡市の南東部に位置し、1級河川小貝川の西に開けた平坦な水田地帯で、標高は48～57m、稲作を中心とした農業が営まれている地域である。

本事業は、小貝川西地区の農地174haについて、圃場整備を行ったものである。また、これに併せ他事業にて県道整備、農道整備を行っている。

事業名	県営圃場整備事業
事業主体	栃木県
事業箇所	真岡市阿部品、物井、桑ノ川、高田
受益面積	174ha
受益者数	282人
整備内容	整地工 173.5ha 用水路工23.3km 排水路工 15.0km 道路工 20.2km 暗渠排水 28.5ha
総事業費	18.9億円
事業期間	平成9年度～平成19年度



2. 事業の目的・必要性

本地区は、S30年代後半に耕地整理により整備を行ったが、農地は区画が狭く、道路は狭小で用排水路が土水路であったため、効率的な営農に支障を来していた。

このため、大型機械の導入や、農作業の効率化に向け、圃場整備事業による農地の大区画化、用排水路の整備及び農道の整備を行った。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時	事業完成時	増減
受益面積	185.7ha	173.5ha	△12.2ha
総事業費	22.1億円	18.9億円	△3.2億円
工期	H9～H13	H9～H19	
受益面積が12.2haの減となったため、事業費について3.2億円の減となった。			

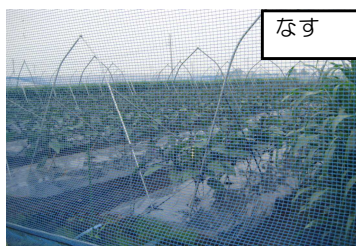
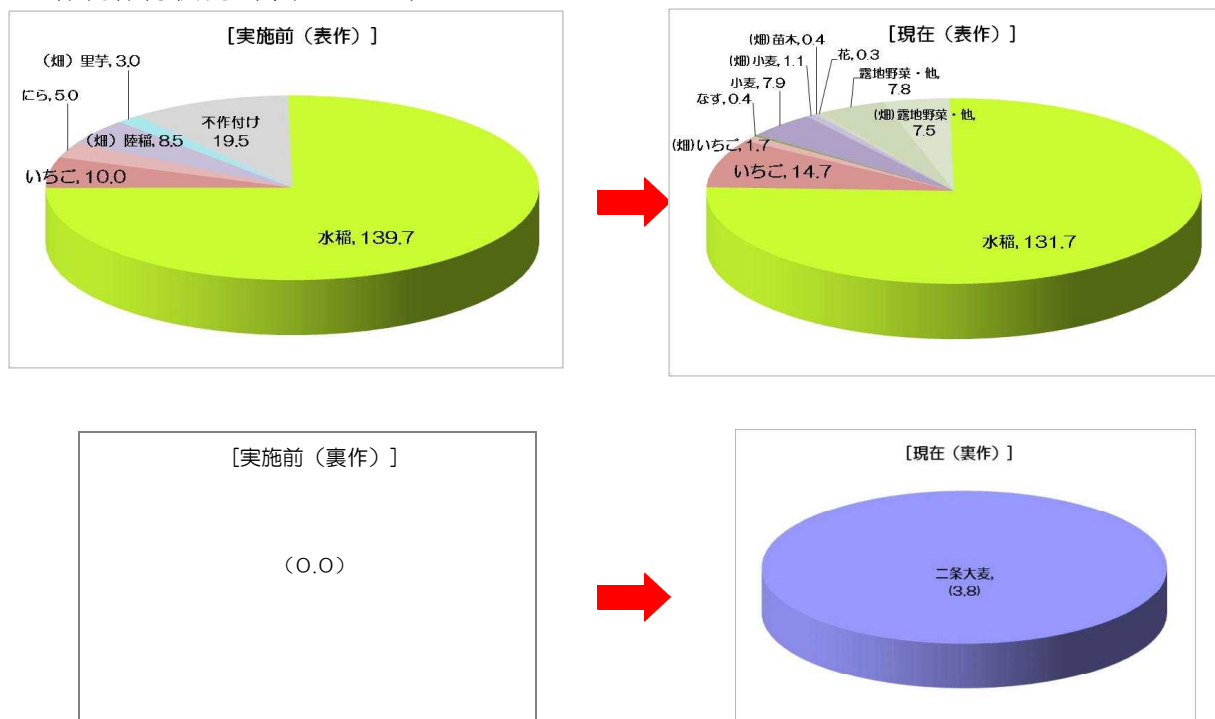
(2) 農地の高度利用

◆農作物の作付け状況

用水の安定供給やほ場の汎用化、作物の栽培条件が改善されたことにより、いちご、なす、小麦や、二条大麦などが栽培されている。特にいちごの作付は事業前に比較すると大幅に増加し、真岡市の特産品として、首都圏を中心に出荷されている。

○耕地利用率 [実施前] 89% ⇨ [現在] 102%

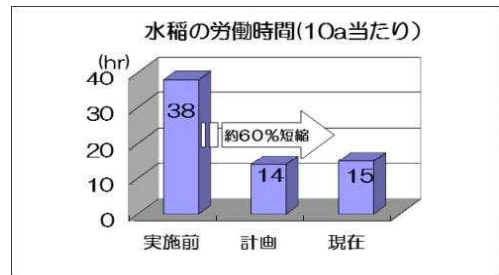
○作物作付状況 (単位: ha)



(3) 営農の効率化

① 農作業に係る労働時間の短縮

農地の大区画化等により、大型機械の導入が可能となり、労働時間が水稲で約60%短縮されている。

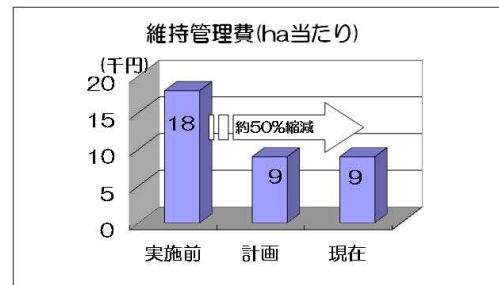


(担い手農家からの聞き取り)

② 維持管理の軽減

水路装工、農道整備により水路の掘ざらい、草刈り、道路の草刈り等の維持管理費が年間約50%軽減されている。

維持管理費：18千円/ha/年間（実施前）
↓
9千円/ha/年間（現在）



(二宮土地改良区聞き取り)

(4) 農地利用集積の推進

区画形状や用排水路、農道が整備され営農条件が改善されたことにより、担い手への農地集積が着実に増加し、担い手の確保育成に寄与している。

	[整備前]		[現在]
地区内経営面積 (ha)	9 ha	約5倍 →	47 ha
地区内農地集積率 (%)	5 %		27 %

4. 事業により整備された施設の管理状況

整備された農業施設は、二宮土地改良区により適正に管理されている。農道は真岡市により管理されている。水路は年1回程度定期的に土地改良区および地先耕作者が土砂清掃及び草刈り等を行っている。



5. 事業実施による環境の変化

事業により、地区内に県道バイパス（西田井二宮線）用地として非農用地を4.6ha創設した。県道の整備は、集出荷施設への農作物運搬時間の短縮や、いちごの荷傷み防止等にも寄与している。

農道が舗装整備されたことで、営農条件の向上に加え、通勤・通学など住民の生活環境の向上にも役立っている。





6. 社会経済情勢の変化 特になし

7. 今後の課題等

事業実施により担い手への農地集積や特産農作物（いちご）の導入が図られている。今後は、乾田化による麦・大豆・野菜等の作付けが可能となった農地の一層の利用が図られるよう支援をする必要がある。

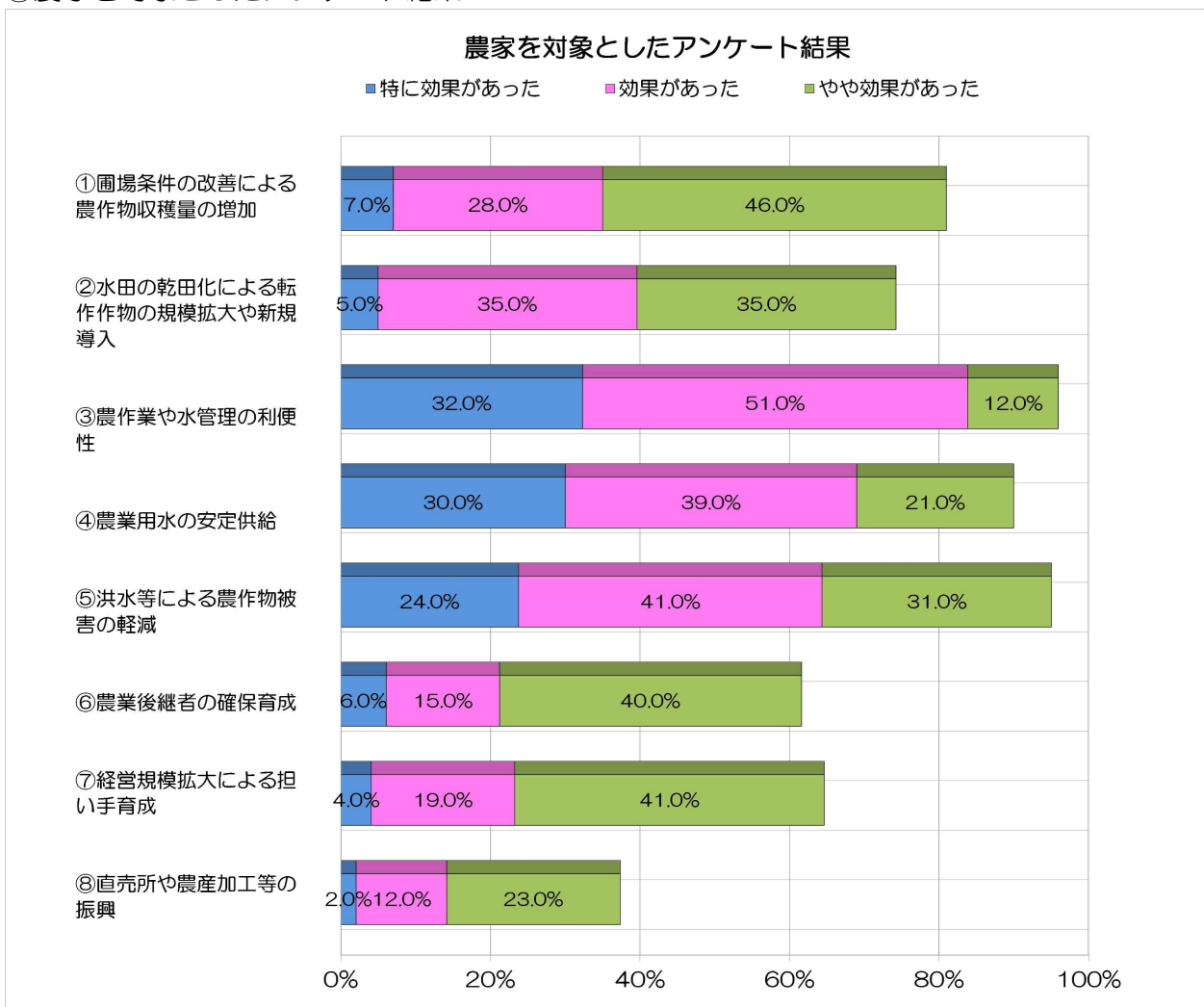
◆ [参考：アンケート調査結果について]

本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。
 （配布戸数 276戸 回答 212戸 回答率 77% H25.6.実施）

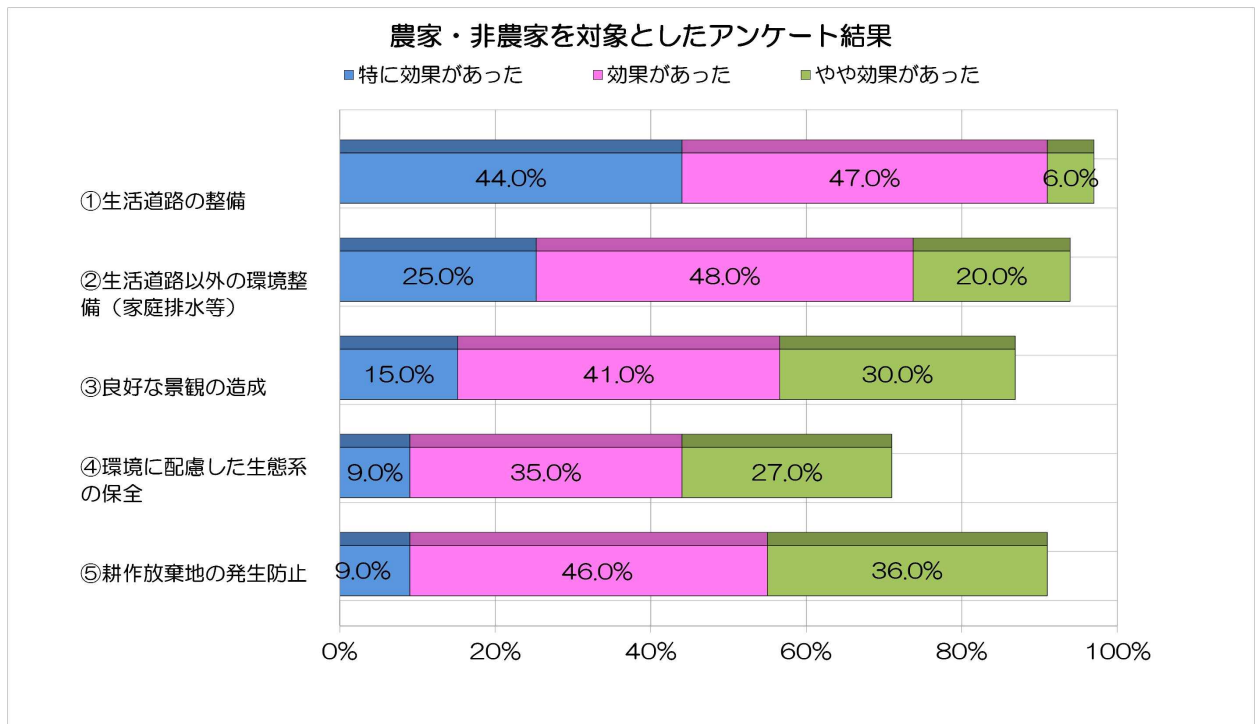
[アンケート結果での地域住民の事業に対する評価]

農家からは特に農作業や水管理の利便性、農業用水の安定確保、洪水等による農作物被害の軽減に対して高評価を得ている。農家、非農家から生活環境全般について高評価を得ている。

①農家を対象としたアンケート結果



②農家・非農家を対象としたアンケート結果



③主な意見

【農家】

- ・広い面積になったので仕事の効率があがった。
- ・大型機械が入れるようになった。
- ・地域の担い手への賃貸借が容易にできた。
- ・ナマズ、魚が川から田んぼに入れるところを多くした方が良い。
- ・用水、排水などの管理が大変便利である。
- ・道路がまだ舗装されていない所があるので、予算の関係もあると思うが、舗装を施工してもらいたい。
- ・今までの道路では非常に狭かったので、今はとても便利です。
- ・道路の舗装後、交差点での事故が増えたと思う。
- ・用水路道路が大変良くなりありがたい。
- ・今まで、田んぼがばらばらでしたが1ヶ所になり大変ありがたい。

【非農家】

意見無し

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/honchou/honchou/1182500312842.html>

E-mail : nochiseibi@pref.tochigi.lg.jp

